第2号議案

甲府都市計画道路の変更

（3・4・20号　田富西通り線）

甲府都市計画道路の変更（山梨県決定）

甲府都市計画道路中、3・4・20号　田富西通り線を次のように変更する。

種別	名称		位置		区域	構造				
	番号	路線名	起点	終点	延長	構造形式	車線の数	幅員	地表式の区間における鉄道等との交差の構造	備考
幹線街路	3・4・20	田富西通り線	中央市山之神	中央市西花輪	1,620m	地表式	2車線	16m	幹線街路と 立体交差　2箇所 平面交差　2箇所	
	理由		甲府都市計画道路　（都）田富西通り線は、中央市田富庁舎周辺市街地における南北方向の交通を担う幹線道路である。 平成3年の計画決定においては、常永川左岸に沿った（主）甲府市川三郷線の交通量が多いことから、これに影響を及ぼさぬよう一部立体交差形式を採用した。 平成7年に新山梨環状道路（南部区間）が都市計画決定され、田富西通り線と交差を余儀なくされたが、新山梨環状道路田富西ランプ、（都）田富東西線、（主）甲府市川三郷線との平面交差点に影響を及ぼさぬよう、立体交差形式のままとし、都市計画の変更は行わなかった。 （都）田富西通り線は、平成3年度より市街化区域内を先行して整備し、これまで段階的に供用開始をしてきたところであるが、本路線の上り線については、沿線に中央市田富庁舎、田富福祉センター等、主要な地域拠点が位置することから、地元より新山梨環状道路へ直接アクセス出来るよう更なる利便性向上に資する要望があった。 このことから、関係機関と協議を行い、これまで影響を排除していた（主）甲府市川三郷線については下り線を、（都）田富西通り線については上り線を大きく線形変更し、立体交差形式にすることで、スムーズな合流が確保され、新山梨環状道路へ直接アクセスすることも可能となり、各々の路線の機能が更に向上することから、ここに都市計画の変更を行うこととする。					

新旧対照表

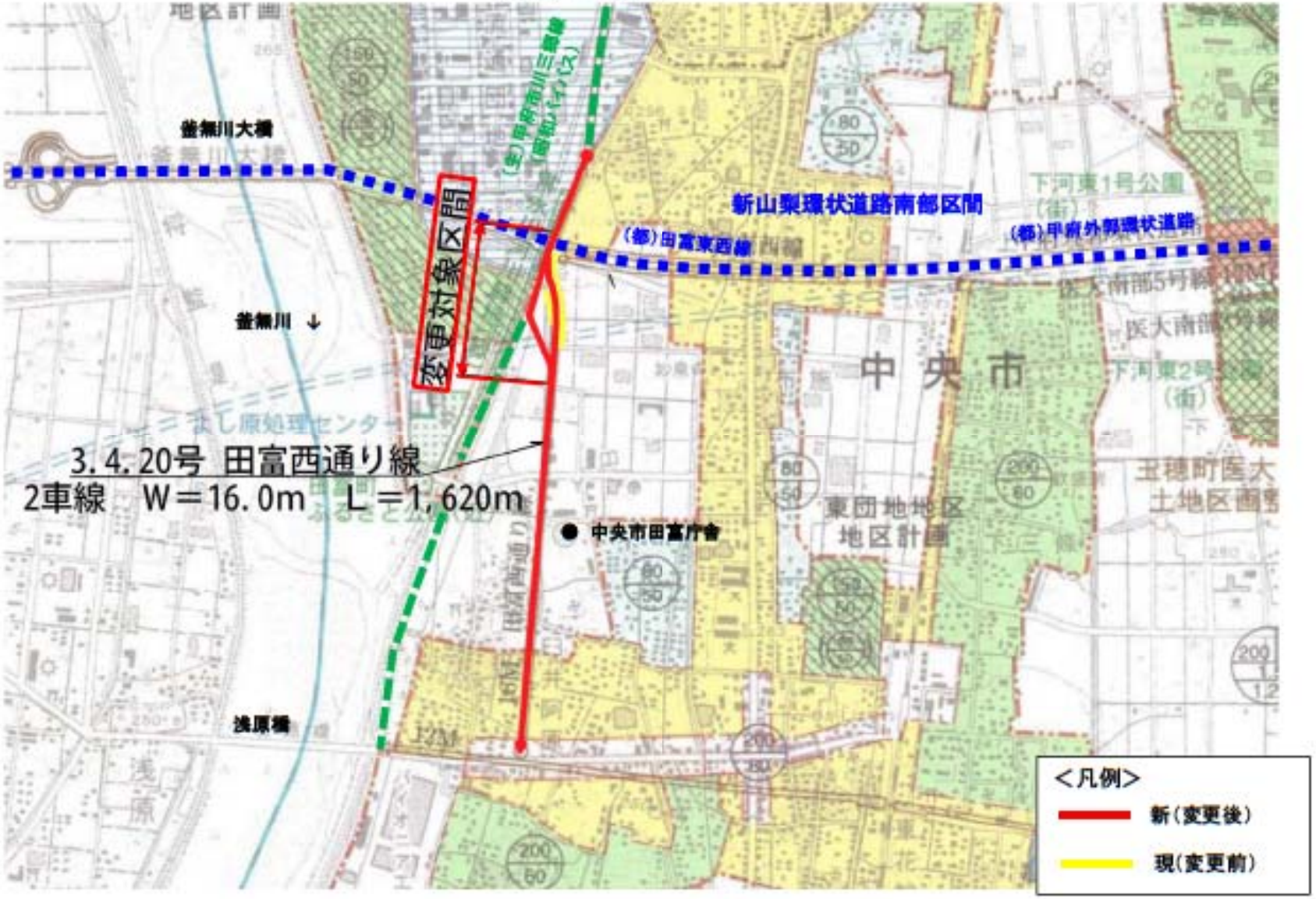
＜現＞

種別	名称		位置		区域	構造				
	番号	路線名	起点	終点	延長	構造形式	車線の数	幅員	地表式の区間における鉄道等との交差の構造	備考
幹線街路	3･4･20	田富西通り線	中央市山之神	中央市西花輪	1,620m	地表式	2車線	16m	幹線道路と 立体交差　1箇所 平面交差　1箇所	

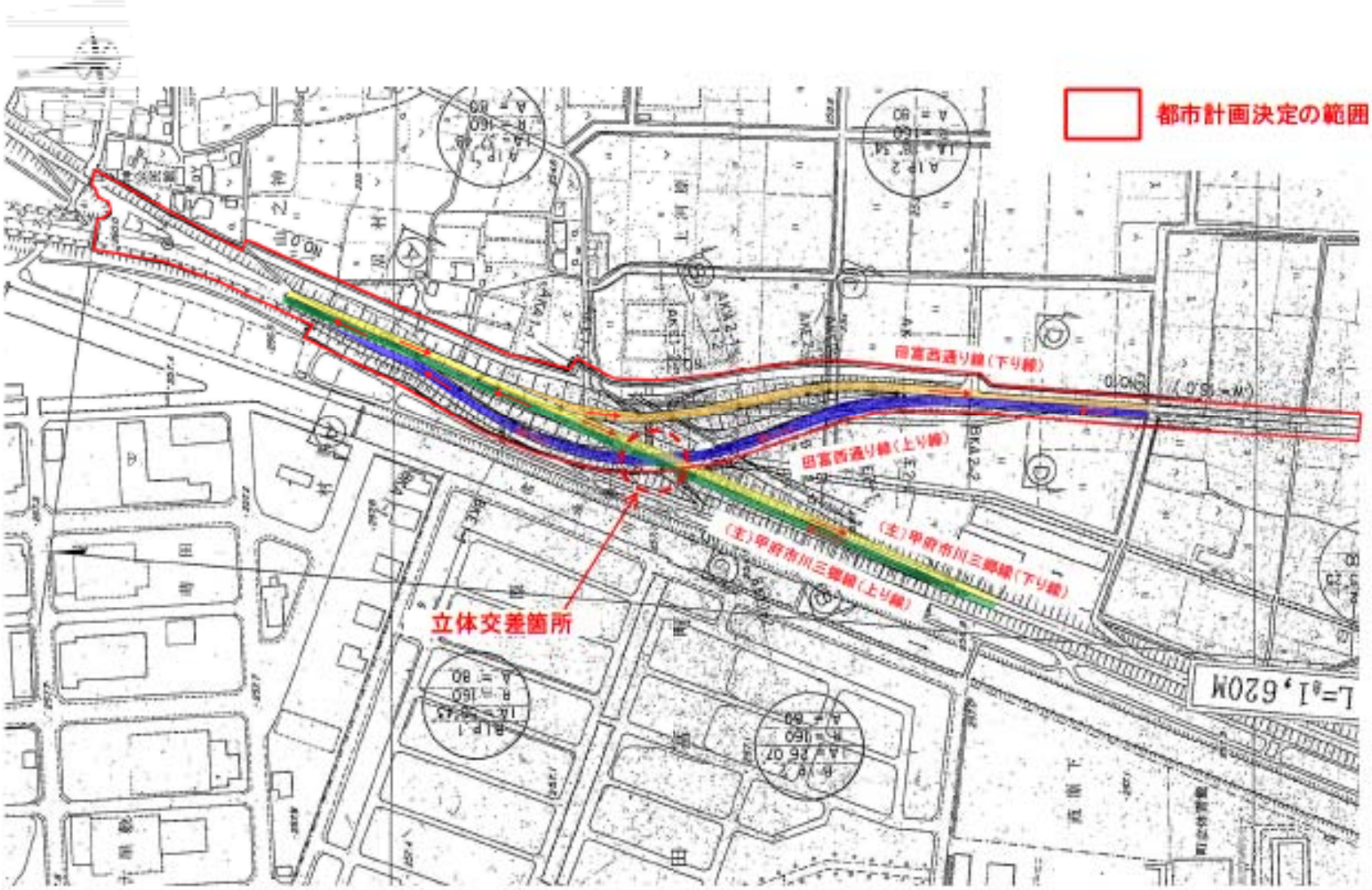
＜新＞

種別	名称		位置		区域	構造				
	番号	路線名	起点	終点	延長	構造形式	車線の数	幅員	地表式の区間における鉄道等との交差の構造	備考
幹線街路	3･4･20	田富西通り線	中央市山之神	中央市西花輪	1,620m	地表式	2車線	16m	幹線道路と 立体交差　1箇所 平面交差　1箇所	

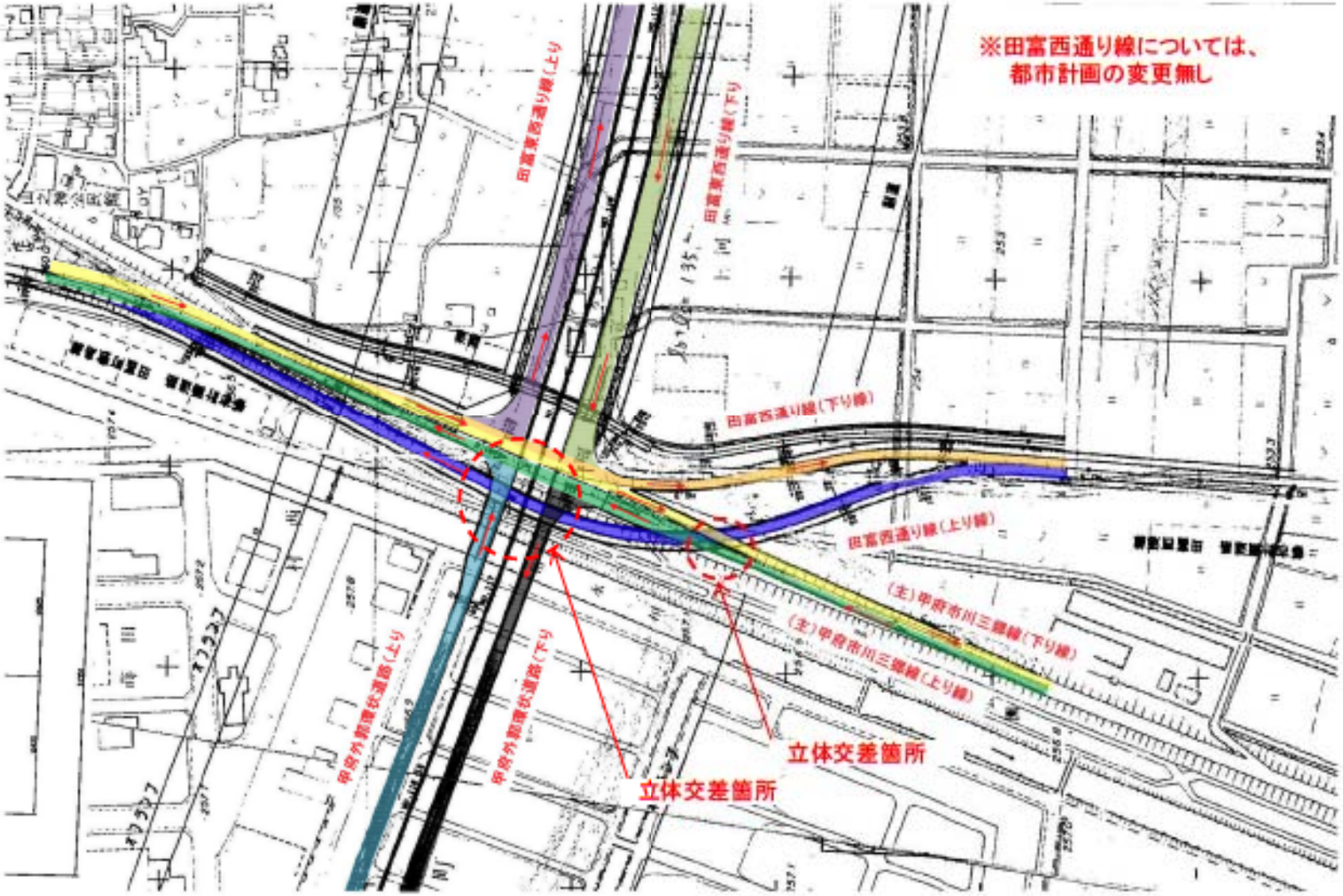
（都市計画総括図）


釜無川大橋
釜無川
浅原橋
変更対象区間
新山梨環状道路南部区間
（都）甲府外郭環状道路
（都）田富東西線
中央市
中央市田富庁舎
東団地地区
地区計画
3.4.20号 田富西通り線
2車線　W＝16.0m　L＝1,620m
＜凡例＞
新（変更後）
現（変更前）

田富西通り線　都市計画決定　（当初　平成3年）

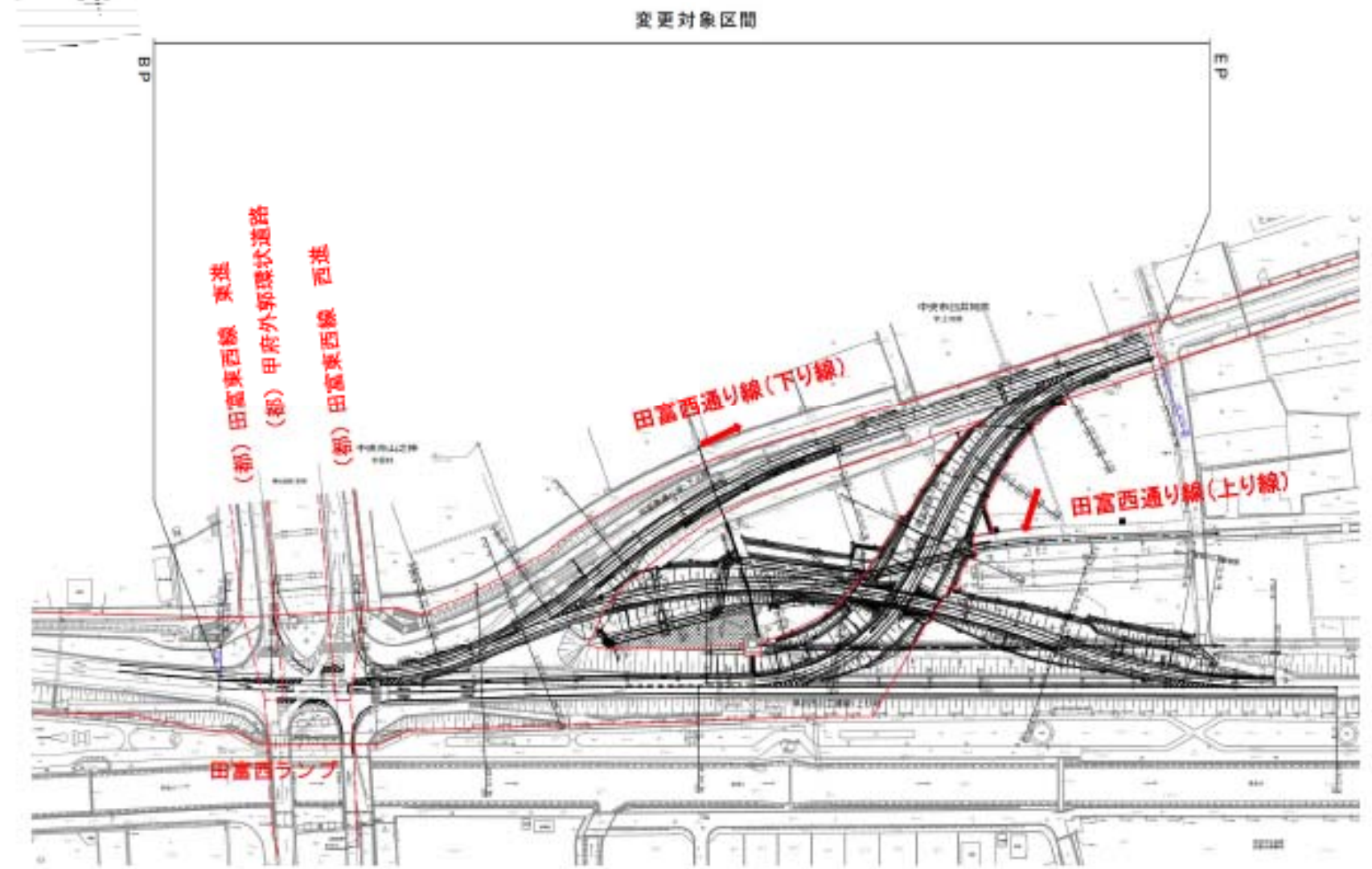


甲府外郭環状道路及び田富東西線　都市計画決定　（平成7年）

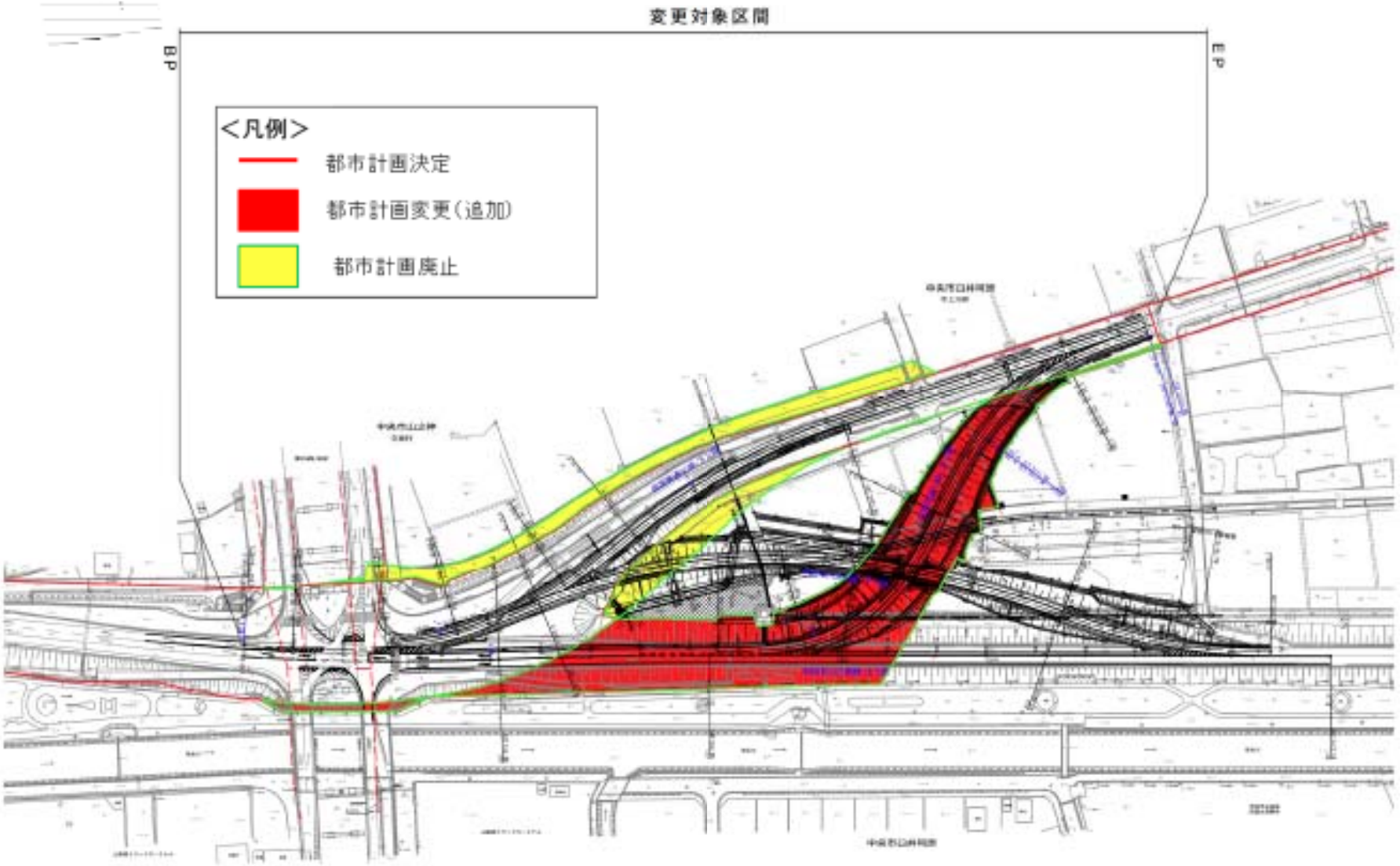


田富西通り線　都市計画決定　変更　（今回）

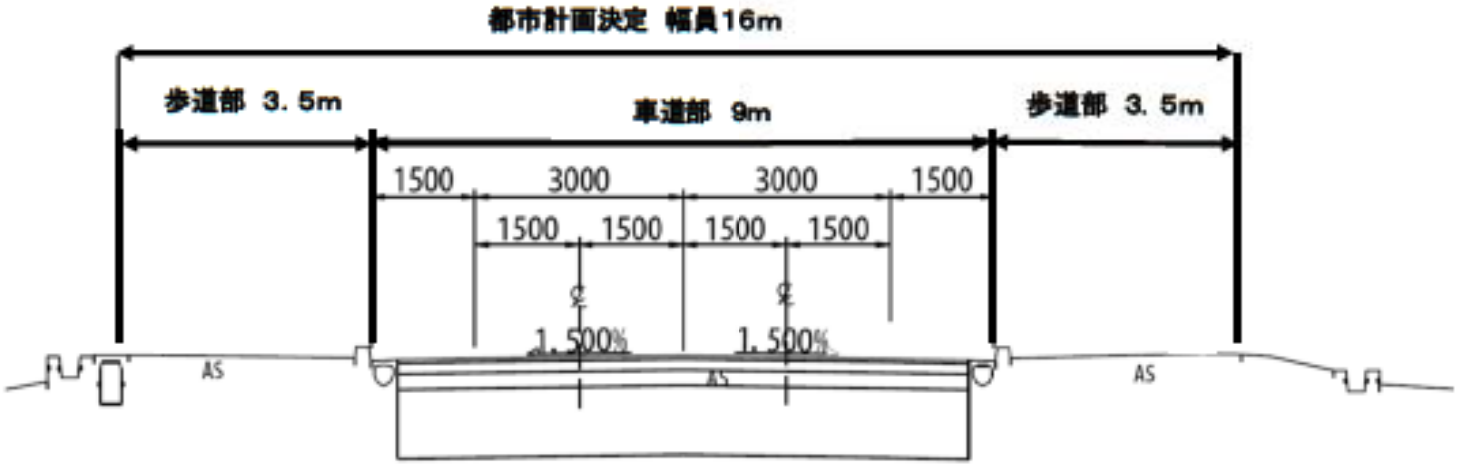
計 画 図


変更対象区間
B.P
E.P
（都）田富東西線　東進
（都）甲府外郭環状道路
（都）田富東西線　西進
田富西通り線（下り線）
田富西通り線（上り線）
田富西ランプ

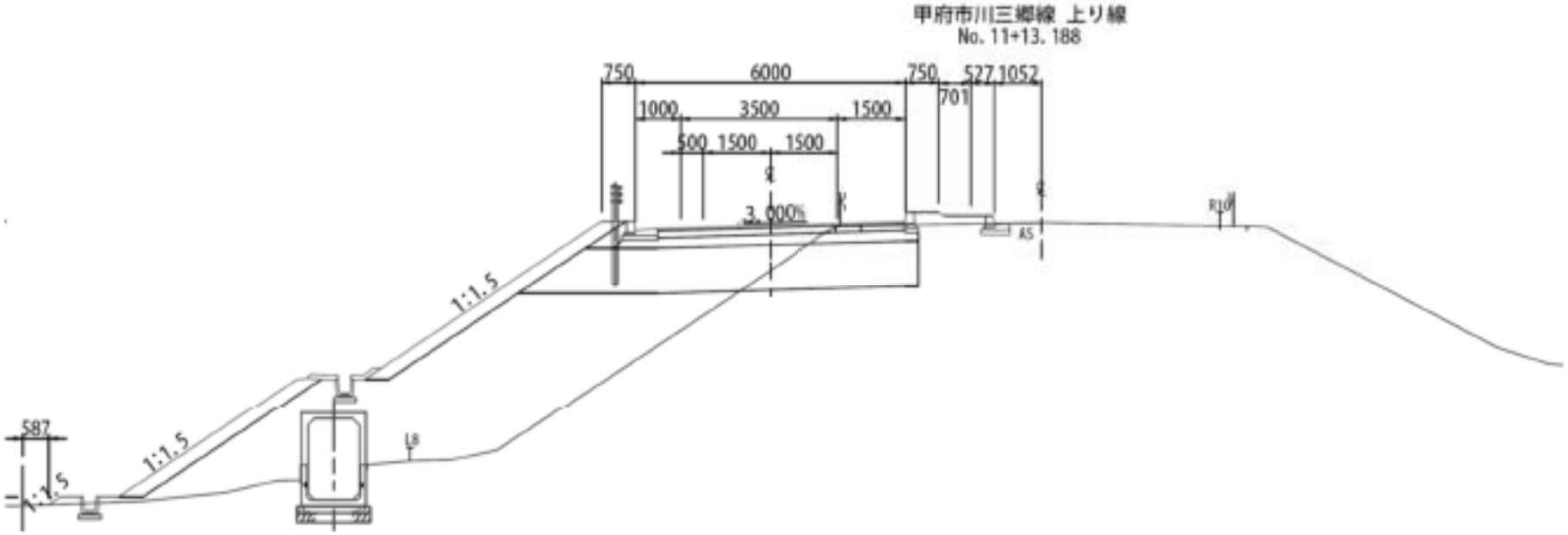
計画図（新旧対象図）



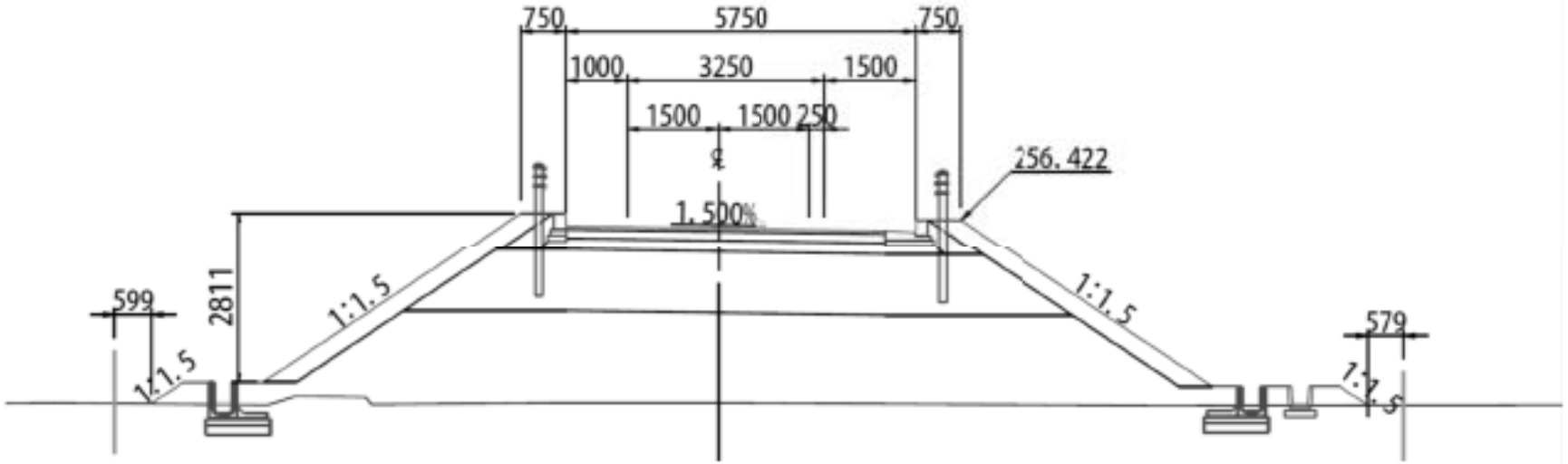
標準横断図 （田富西通り線　上り、下り）



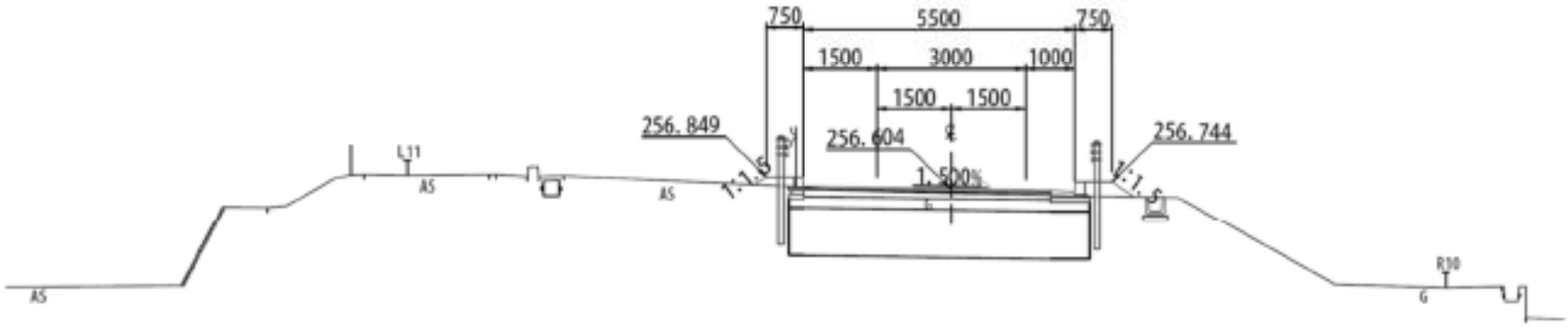
横断図 （NO.2 田富西通り線上り）



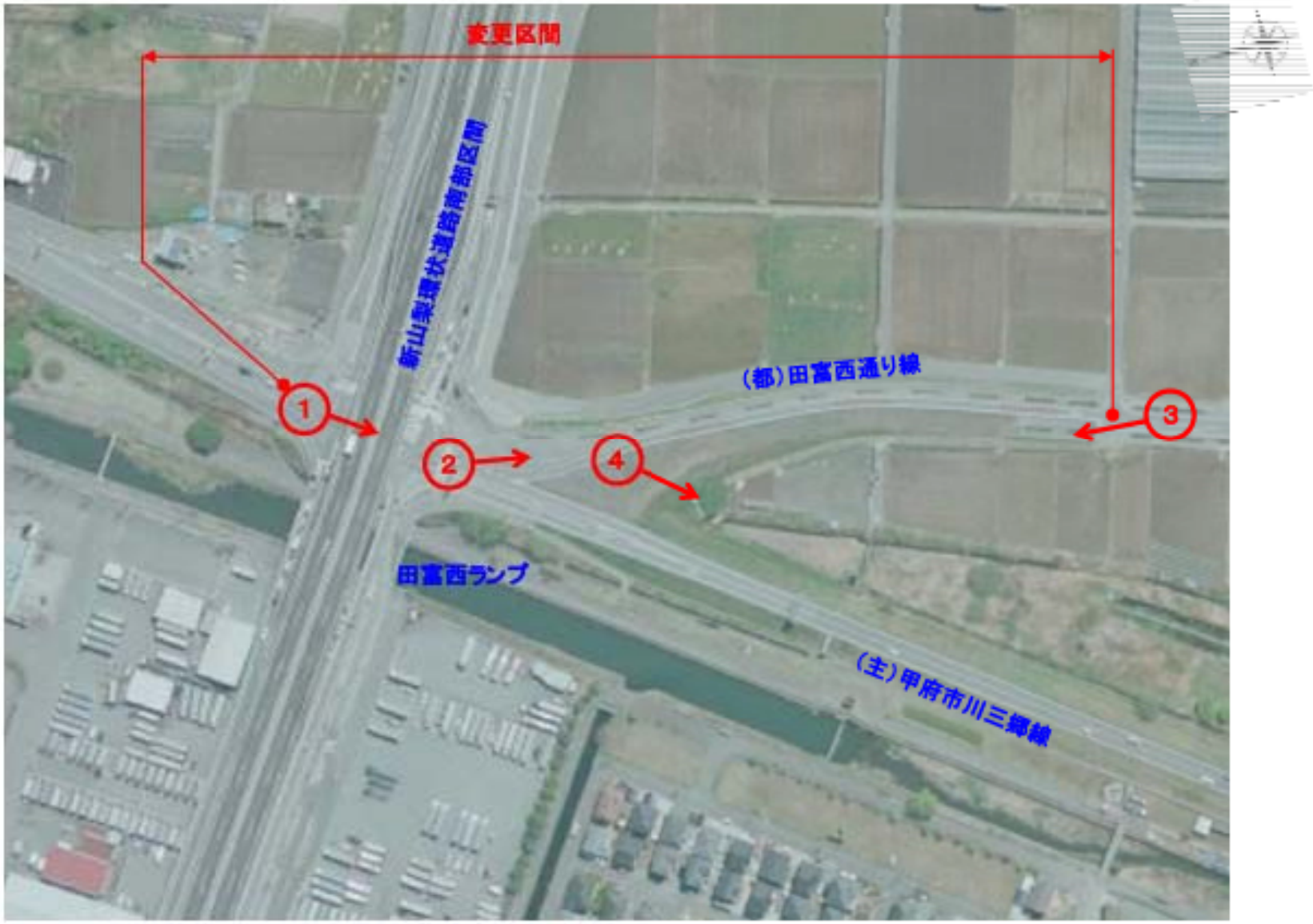
横断図 （KE2－1　田富西通り線上り）



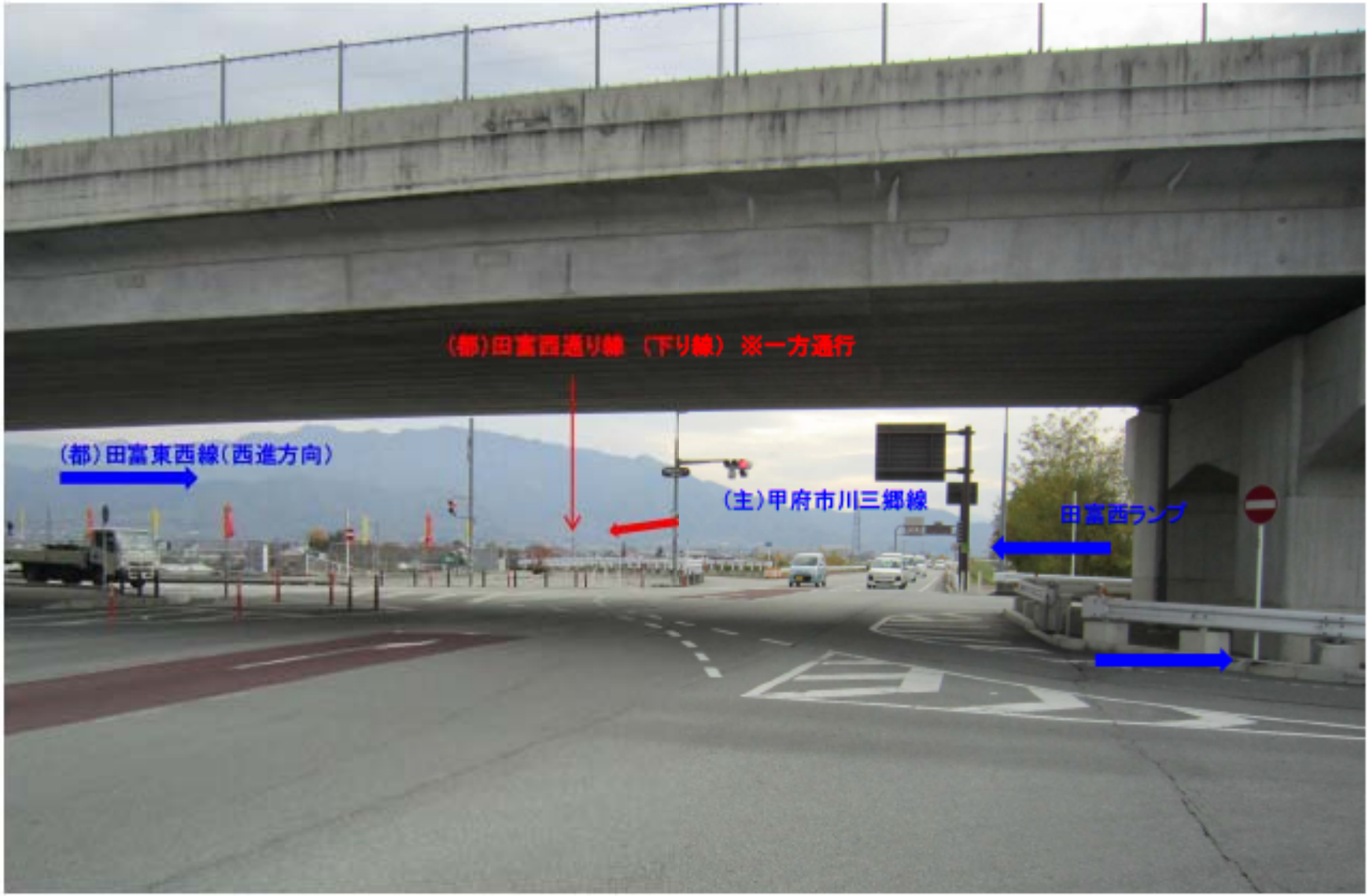
横断図 （NO.10　田富西通り線下り）



第2号議案　現況写真（航空写真）

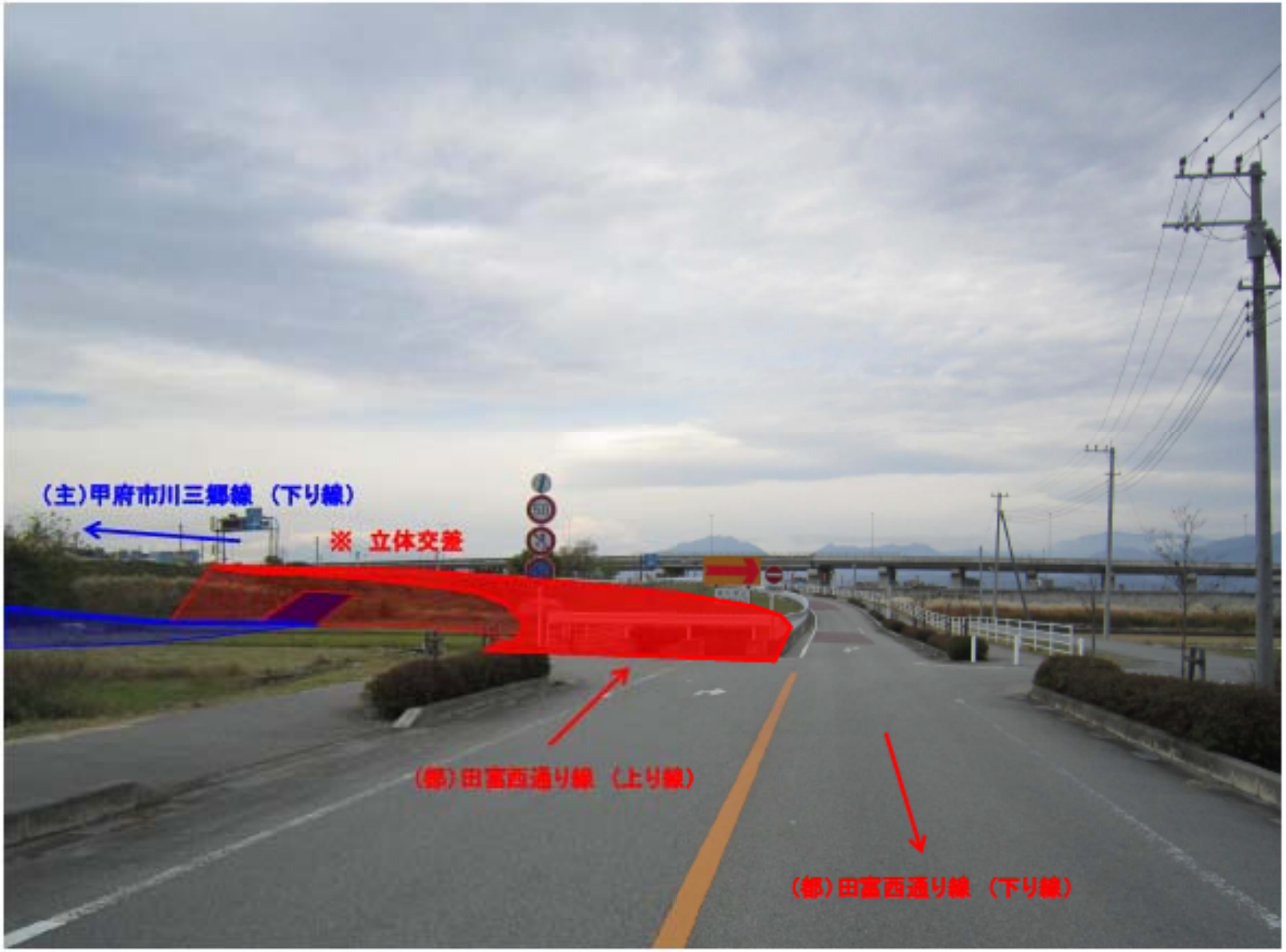


第2号議案　現況写真　①（起点側　交差点付近から望む）

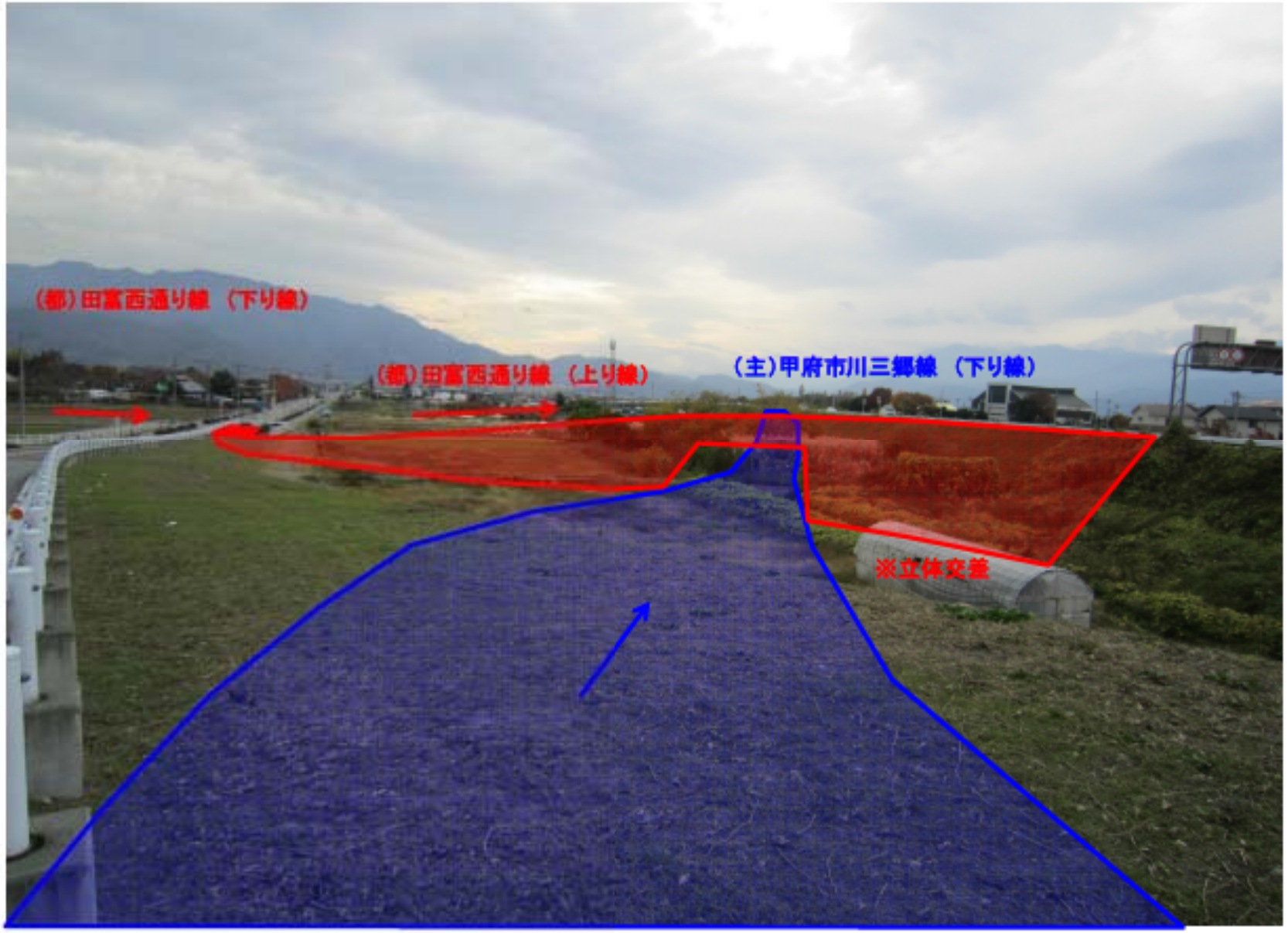


第2号議案　現況写真　②　（起点側より　　暫定供用部）

第2号議案　現況写真　③　（終点側より　暫定供用部）



第2号議案　現況写真　④　（終点側より　変更する曲線部先）



都市計画の策定の経緯の概要

甲府都市計画道路の変更（3･4･20　田富西通り線）

事　　項	時　　期	備　　考
説　　明　　会	平成25年　3月18日 平成26年　1月24日	
公　　聴　　会	平成27年12月　1日	公述人無し。開催中止。
関係市の意見聴取	平成27年12月　3日	中央市長
計画案の公告･縦覧 （法17条に基づく公告･縦覧）	平成28年　1月　7日 ～　1月21日	縦覧者数：3名 意見書：なし
山梨県都市計画審議会	平成28年　9月　6日	
都市計画決定告示	平成28年10月（予定）	